

第6章 3. 西ヨーロッパ中世社会の変容 f. イギリスとフランス

①13~14世紀 国王らによる[1 中央集権]化の進行
[2 課税]などをめぐり貴族や市民との調整必要に→各国で[3 身分制議会]を開催

身分制議会…封建社会解体期、[4 中央集権]化がすすめられるなかで、[5 課税]などの問題を解決するため[6 国王]とさまざまな[7 身分]代表の間の調整機関として生れた議会。

②イギリス=例外的に王権が強い封建制←理由=8 ノルマンの征服(ノルマン=コンクエスト)
1066[9 ノルマン]朝→1154[10 プランタジネット]朝
ヘンリ2世(フランスの大貴族出身→フランス西半を領有)

③13世紀初[11 ジョン](失地)王の失政=フランスの領土の大半を喪失、教皇に破門され、屈服する
ヘンリ2世の子 ↓ フィリップ2世 ([12 インノケンティウス3世])
貴族と都市の反抗→[13 1215]年[14 マグナカルタ](大憲章)を認めさせられる

マグナ=カルタ…[15 1215]年、国王[16 ジョン]の失政に対し反抗した貴族らが国王に認めさせた文書。イギリス[17 憲法]の出発点となる。新たな[18 課税]には貴族らの承認が必要なこと、教会や[19 都市]の特権尊重、商人の自由通行などがみとめられた。

④[20 1265]年、貴族[21 シモン=ド=モンフォール]が反乱→王に対抗し[22 議会]を開設

シモン=ド=モンフォールの議会…[23 大憲章]を無視したヘンリ3世に対し反乱を起こしたフランス出身の貴族シモン=ド=モンフォールが、1265年それまでの大貴族と高級聖職者の会議に、[24 州(騎士)]と[25 都市]の代表を加えて開いた議会。[26 イギリス議会]の起源とされる。

⑤[27 1295]年、エドワード1世、[28 模範議会]を開設→イギリス議会定着に

模範議会…1295年、国王[29 エドワード1世]が召集した議会。のちのイギリス議会の模範となる。

⑥14世紀 [30 二院制]議会の定着

上院(貴族院)=高級聖職者と大貴族
下院(庶民院)=州(←かつての騎士である地主[31 ジェントリ])と都市(←商工業者)の代表
→[32 法律]制定と新たな[33 課税]には下院の承認が必要となる。

イギリスでは、12世紀成立した[34 プランタジネット]朝においても他の国に比べ王権が強く中央集権化もすすんでいた。しかし[35 1215]年、貴族と都市はジョン王の失政に抵抗、王に[36 大憲章]を承認させた。しかし次のヘンリ3世がこれを無視したため貴族の[37 シモン=ド=モンフォール]らがこれに反抗、都市や州の代表を加えた議会を開いた(1265)。これがイギリス議会の起源とされる。これに対し1295年エドワード1世は[38 模範議会]を開催、以後、イギリスでは議会が定着し始める。そして14世紀、議会は上院と下院の[39 二院]制議会が確立する。立法権などを獲得した下院では[40 都市市民]とともに地主化した騎士身分の[41 ジェントリ]が大きな位置を占めた。

⑦フランス…10世紀[42 カペー]朝成立=当初は[43 諸侯]の勢いが強く弱い勢力

↓
12世紀以降、[44 十字軍]、イギリスとの争い([45 フィリップ2世]→フランス西半を獲得)、アルビジオワ十字軍(ルイ9世)などを経て力を伸ばす。
ジョン王

アルビジオワ十字軍…12~13世紀、[46 南フランス]の諸侯の支持を得ていた異端派キリスト教の[47 アルビジオワ]派に対し、[48 教皇]の意を受けたフランス王フィリップ2世がはじめた攻撃。[49 ルイ9世]によりアルビジオワ派は平定され、南フランスに[50 王権]が拡大した。

⑧14~15世紀初 [51 フィリップ4世]…ローマ教皇ボニファティウス8世と争う
→[52 三部会]を開き国内の諸身分の支持を固める

三部会…フランスにおける[53 身分制議会]。国王[54 フィリップ4世]が教皇[55 ボニファティウス8世]との争いに際し、1302年[56 僧侶][57 貴族][58 平民]の三身分の代表をパリに召集したのが始まり。

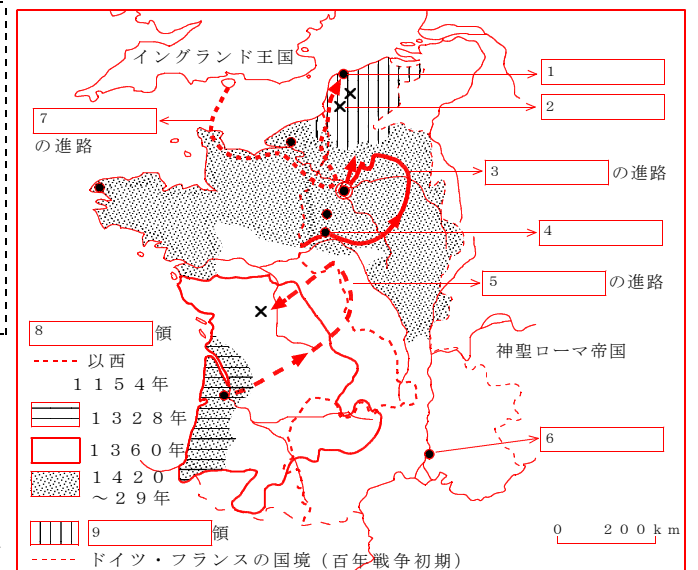
フランスの[59 カペー]朝は当初非常に弱体であったが、[60 十字軍]の遠征で力を伸ばし、[61 フィリップ2世]はイギリスからフランス西半を奪い、ルイ9世が[62 アルビジオワ]十字軍に勝利し王権を南部にのばすなど、強大化していった。こうしたなかで13世紀末~14世紀初頭の王[63 フィリップ4世]は[64 ローマ教皇]との争いに際し、[65 三部会]を開き国内の支持を固めた。

g. 百年戦争とバラ戦争

百年戦争…[66 14]世紀から15世紀中期([67 1453]年)まで100年以上にわたり、[68 イギリス]と[69 フランス]が、[70 フランス]を舞台に断続的につづけた戦争。当初は[71 イギリス]が優勢であったが、最終的には[72 フランス]が勝利、イギリスはフランスから撤退した。

①百年戦争の原因
ア)フランスの[73 フランドル]地方領有への動きをイギリスが阻止しようとする
*イギリス産羊毛の輸出先

イ)フランス[74 ヴァロワ]朝成立に際しイギリス王が[75 王位継承]権を主張



百年戦争当時の英仏関係